

文教福祉常任委員会の審査の経過と結果をご報告申し上げます。

当委員会は、休会中に、今定例会において付託を受けました議案 12 件及び請願書 1 件の審査を行いました。

説明を求めるために出席を求めた者は、市長、教育長、関係部長・課長等であります。

なお、今回は現場視察として社会福祉協議会に出向き、最近の運営状況と学童保育の指定管理状況について説明を受け意見交換を行うと共に目川小柿線の通学路の現場を視察し現状把握いたしましたのでご報告いたします。

それではまず条例関係からであります。

議案第 72 号 栗東市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定については、

委員から、民活を理解することに無理があり、対象園の保護者に説明責任を果たすべきとの反対の意見がありました。また一方では、対象保育園は当初、済生会病院従事者中心の保育園として設立されており、市は済生会病院内に保育園設置を打診したが、病院側にその意志がないことが判明した。

このことを受けて市は市民説明会や保護者会等で何回も説明会を実施するとともに市立保育園等運営対策特別委員会で議論を重ねてきた経過がある。との賛成の意見がありました。

討論では、大橋保育園の署名に対する回答も無い中で、プロセスが不十分として反対の討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

次に、議案第 73 号 栗東市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、慎重審議ののち、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、補正予算関係であります。

議案第 78 号 平成 21 年度栗東市一般会計補正予算（第 4 号）について

のうち、関係する歳出、関係する歳入・その他事項については、委員から子宮がん・乳がん検診の無料クーポン券は今年限りか、との質問に対し、緊急経済危機対策として実施されたので今年限りである。本市の受診率が低いのは承知しており、今後啓発に努める。との答弁がありました。

目川小柿線の通学路予算については、交通量も多く、一番現実的に困り、将来的に困るであろうところに予算計上すべきでは、との質問に当局から、市内には同様に危険箇所があることも承知しているが、過去の経緯から交渉の困難性に鑑み計上した。との答弁がありました。

特別支援教育推進事業と小1すこやか支援員事業は今回の緊急雇用対策事業で計上されたものだが、この事業の継続性は、との質問に対し、両事業はともにこれから3年間と聞いている。との答弁がありました。

また地デジ対応は計画的に進んでいるか、との質問に対し当局から、今回の予算は文科省からの配分交付金として、緊急時情報収集を目的に職員室などに地デジ対応のテレビが設置できるよう4つの小学校にアンテナ等の工事を行う予定。教育指導用については、今後学校現場の状況を確認し対応していく。との答弁がありました。

採決の結果、討論もなく、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、議案第78号 平成21年度栗東市一般会計補正予算（第4号）について のうち関係する歳入・その他の事項については、原案のとおり可決すべきものと決した旨を、総務常任委員会委員長に報告いたしております。

議案第79号 平成21年度栗東市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）については、慎重審議ののち、討論もなく採決の結果、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第80号 平成21年度栗東市老人医療保健特別会計補正予算（第1号）について、議案第81号 平成21年度栗東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、及び議案第82号 平成21年度栗東

市介護保険特別会計補正予算（第1号）については、いずれも慎重審議ののち、討論もなく採決の結果、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に決算関係であります。議案第85号 平成20年度栗東市一般会計歳入歳出 決算認定については、委員から数多くの質疑がありました。その主なものとしまして、

たんぼぼ教室の人員削減後の影響はどうか、との質問に当局から、正規職員の心理判定員により対応し、1対1の指導に努力している。との答弁がありました。

児童虐待はどのように対処されているか、との質問に当局から、個々のケースはその都度入っており、電話、面接、訪問等により対応している。地域の民生委員さんに見守りをお願いしているケースもある。との答弁がありました。

民生委員不在の地域があると聞くが、その対応は、との質問に、現在2カ所が不在であるが、近隣の民生委員さんに協力をお願いしている。欠員解消のため、自治会の方々と共に努力している。との答弁がありました。また、済生会病院は栗東市にとって市民病院的存在である。市民が病院に対して意見を伝える窓口はないのか。との質問に当局から、済生会病院と定期的に懇談会を持ち、市民の意向を反映する場としており、苦情等があった場合はその都度連絡し対応していただいている。との答弁がありました。

学童保育所に定員超過のところがあるが、市の今後の対応は、との質問に当局から、現存の施設で運営を考えているが、定員超過の学童保育所は今後検討していく。との答弁がありました。

就修学奨励事業の一般施策に向けての方向性は、との質問に当局から、2年後に判断し結論を出す予定、との答弁がありました。

キラリフルチャレンジのくりちゃん検定と早寝・早起き・朝ご飯の取り組みの成果は、との質問に当局から、くりちゃん検定の反復学習で正答率が増えており確かな学力が身につけてきている。また、早寝・早起き・朝ご飯の取り組みでは、平成19年度から始まって以来、着実に朝食を取って登校す

る子どもが増えてきており、全国の調査結果からも明らかに良い傾向が出てきているとの答弁がありました。

少年センターの職員構成は、最近の諸情勢から、警察OBの採用を増やすべきでは、との質問に当局から、青少年問題から今後考慮する。との答弁がありました。

更に、委員から

精神・結核患者入院給付事業がなくなったが、結核は無くなっていないし、精神で長期入院中の収入のない精神患者の方はどうなるのか、市の丁寧な対応を願う。

文化体育事業団や体育協会などは、財プロを視野に、どういう形が良いか考えるべき時である。「人権尊重と部落解放をめざす地区別懇談会」の参加者は、一人でも多く参加される取り組みを願う。

また、何事も結果で動くのではなく、事前に行動し、心を込めた対応を願う等の意見がありました。

討論では、たんぽぽ教室に待機が出ており人的補充がされていない、保育園児に85人の待機があり、保育士も20名以上不足の状態であること、学童保育所の狭い実態を危惧するなどとして、反対の討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

なお、関係する歳入・その他事項については、認定すべきものと決した旨を総務常任委員会委員長に報告致しました。

議案第87号 平成20年度栗東市 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について、及び、議案第89号 平成20年度 栗東市 後期高齢者医療 特別会計 歳入歳出決算認定については、慎重審議ののち、反対の討論がありましたが、採決の結果賛成多数で認定すべきものと決しました。

議案第88号 平成20年度栗東市 老人医療保健 特別会計 歳入歳出決算認定については、質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

議案第90号 平成20年度栗東市介護保険特別会計歳入歳出決算認定については、質疑ののち、介護認定数とサービス利用者数に差があり、その実態を把握されていないなどとして、反対の討論がありました。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

請願書第18号 栗東市立大橋保育園の廃園ならびに栗東市の子育て支援に関する請願書 については、請願の理由説明ののち、委員から、何回か連続して保護者会の説明に同席したが、市としての説明責任は果たしており、選考委員会においても保護者会の代表者が入っておられ議論されている。また、この内容については、文教福祉常任委員会、市立保育園等運営対策特別委員会ですっかり議論してきており、民営化は賛成する。幼保一元化については、子ども達に良い影響を与えているとして賛成の意見がありました。採決の結果、賛成少数で、不採択すべきものと決しました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました案件の審査結果の報告いたします。よろしくご審議いただきますよう、お願い申し上げます。